

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム希望の泉

作成日: 令和5年1月23日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に要する期間
1	1-(1)	ホーム理念の周知徹底。理念による介護実践を行ってはいるものの、フィードバックができていない部分がある。 理念に基づく、各個人(職員)の行動指針(目標設定)を検討する必要がある。	各自(職員)が、目標を掲げ、その目標に沿った介護実践をすることができ、また、その、振り返りを定期的に行うことができる。	6月、10月に各職員と管理者の面談を活用し、フィードバックを行う。 12ヶ月
2	4-(3)	コロナ下において、外部との関係、接触が、ホームとして、また、職員、入居者とも激減している状況が継続している。	コロナの感染状況を検討しつつ、外部との関わりを持つようにする。	運営推進会議の対面開催 入居者の面会を再開する 外出機会(集団外出は困難なため、個別での外出機会を作る)の創出 6ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。